

2024. 8～9月 ブラジル研修レポート

動物に特化した研修のため、約一ヶ月、ワクチンを数種類打って参加しました。

観光を除く毎日はホームステイ。味の濃い食事やとっても甘いスイーツを堪能したようです。参加した仲間が仲良く、ケンカやケガもなく充実した研修となりました。

研修先大学： パラナカトリカ大学
パラナ連邦大学



○生命科学部動物生命科学科 3年 加藤 真銘

ブラジルの動物病院の見学、牧場の見学が印象的でした。

今回、見学のみであった為私たちも少しでも参加できる事があれば良かったと思いました。動物病院や牧場の見学、pucprでの多くの動物の剥製を見られたことはブラジルでしか体験できないと思いました。日本とブラジルの獣医療の違いを肌で感じる事が出来てとても貴重な経験となりました。大学では英語を話せる方が多かったですが、街では英語はほとんど通じなかった事が印象に残りました。通訳の方がいないとコミュニケーションを取る事が難しいと思いました。また英語は必要だと実感しました。



○生命科学部動物生命科学科 3年 館上 優妃奈

馬や鶏などの治療を実際に見ることができ貴重な経験でした。また、野生動物の保護や治療中の場面などは日本ではなかなか見ることができないことが多くとても良かったです。実際にブラジルへ行くことでしか体験できないことが多くあり、行って良かったなと思える研修でした。

虫除けスプレーや予備の充電コード、サンダルなどは凄く役立ちました。

また、ホストファミリー用にお土産を持っていったのですがとても喜んでいただけ持って行って良かったなと思いました。(使い捨てカイロなどのブラジルでは見かけないものを特にすごく喜んでました)

2週間があっという間に感じ、足りないと思えるほど楽しく貴重な経験でした。今回の研修に参加できて本当に良かったです。本当にありがとうございました。

